

○ 會 勢 概 況

我總同盟加盟組合は、昭和九年十月現在に於て、八十三組合、その組合員数は四萬九千九百九十九名にして、十地方聯合會、二地方同盟を構成す。昭和七年八月末に比すれば、一聯合會、十一組合約二千名を増加したり。加盟聯合會は高知聯合會にして其内容は別表に示す如し。

昭和七年九月より、昭和九年八月の二ヶ年間に於ける労働争議中、罷業に至りたるものは九十三件、参加人員七千五百十九名、一件平均人員八十五名、繼續日數二十三日にして、前年度に比して著しく減少を見たることは、別表「最近八ヶ年間に於ける罷業増減」によつて明瞭なり。これ、産業界の稍々安定的な傾向、及び我總同盟の平和政策の徹底に基づく。

團體協約運動も、大體に順調の道を辿り、昭和九年八月末現在に於て、六十二協約關係労働者九千四百十八名を數え、昭和七年八月現在に比すれば、三十協約、五千四百四十八名を増加したり。そのうち、東京製菓業組合對東京製菓工組合、東京パルプ會對關東電球硝子産業労働組合との團體協約にして、何れも星玉團體と労働組合の協力により、産業統制に一步を進めたる意味に於て、特筆すべきものなりとす。これ、多年我總同盟の主張せる中小工業に對する方針の實現にして、欣快に堪へざるところなり。

我總同盟は健全なる労働組合の當然の任務として、各種の相互扶助的施設、組合員の教育的活動を奨励し、あるも、幸にして各加盟組合に於て着々實現を見つ、あるは同慶の次第なり。即ち、労働會館は各地に建設せられ、昭和九年九月現在に於て十八會館に上る。日本労働會館は財団法人の認可を受け、六會館はその分館にして、尙且下建設中のもの三會館なり。加盟組合の經營せる消費組合は、十八組合の組合員數四千五百八十五名、一ヶ月平均賣上高は五萬六千八百四

十七圓。詳細は別表参照を要す。右の外、購買部の如き經營形態のものは相當多數に上る。關東同盟の金融部、東京鐵工組合、中央合同労働組合、製鋼労働組合等の共濟部は相當擴充し、其他組合に於ても着々充實を見つ、あり。これ、この二ヶ年間に於ける顯著なる傾向なりとす。

思ふに、最近の世界的勢は、日ぐるましく變轉し、労働組合運動も、各國に於て一起一伏の状態なり。之を大觀すれば、労働組合は經濟組織の變質に伴ひ、その職能が進化を遂げつ、あると共に、國民經濟上の地位は愈々重要性を加へつゝあるを見る。我國亦も然り、大産業に於ける分配の不正を直し、中小工業に於ける無統制を調整し、以つて健全なる國民經濟樹立の爲には、労働組合の必要、特に言を待たざるところなり。然るに、我産業及労働界の實狀は如何。省みて自責に堪へざるものあり。我總同盟の使命、益々重大なるを覺ゆ。

昭和七年第廿一回大會の決定による、昨年十一月の第一回全國事務會議が、所期の好收穫を得たるは當時既に報告せる如し。會議直後の中央委員會は、「産業及労働統制に關する建議」を決議、日本労働組合會議と協力して、その實現に努力しつゝあり。この「建議」の精神は、我總同盟の精神にして、同時に又日本労働運動の指導方針なり。この方針をして、我産業及労働界の上に具現する爲には、健全にして強大なる組織を完成せざるべからず。然して大なる理想には大なる獻身的努力を要す。紛々擾々たる現狀を打開するの道は、労働階級の自力奮闘のみ。

切に同志諸君の健闘を望む。

昭和九年十一月

會 長 松 岡 駒 吉